

わたしたち、社会福祉法人玉柏会は、地域社会の中で「ともに生きる」ことによる「しあわせ」を目指していきます。



玉 柏 会



令和3年6月13日 撮影

矢原荘 男性Cグループ 日中活動

(於： 矢原荘グランド あずまや)

特集：令和3年度 社会福祉法人玉柏会の活動方針

目 次

特集：令和3年度 玉柏会 理事長より	2
「本年度の取り組みについて」・「玉柏会本部の活動」	3
玉柏会 各事業所 活動方針	4
専門的な支援の取り組み 3項目	5
かしわ寮より/矢原荘より/新入職員紹介	6
みすず事業所より/すずちゃんのひとり言	7
令和2年度 決算報告/行事予定/相談	8

社会福祉法人 玉柏会

本部 矢原荘 みすず かりん
かしわ寮 すずらん オークリーブス

〒424-0301

静岡県静岡市清水区矢原362番地

☎054-394-0311 FAX 054-394-0312



「 高きを目指す 」

私たち玉柏会の法人理念「共生(ともいき)」は『障がいの有無にかかわらず、誰もが相互に理解し合い、支え合い、また人格と個性を尊重し合い、地域社会の中でより良く生きていこうという考えです。その理念のもと私たちは「障がいを持つ方々の自立としあわせ」を目指しています。』

150名のご利用者の自立としあわせの大前提となるのが、私たち職員自身の自立と法人の自立基盤の確立です。自立支援活動の基となるのは**共感性**ですが、更に昨今必要性を増してきたのが、それぞれのご利用者の特性に適(かな)った支援活動の専門的知識と対応スキルです。加えてご利用者の高齢化に伴う身体的変化、例えば嚥下咀嚼機能の低下や筋力弱体化による転倒など、専門的対応なくして防止することは不可能になってきました。従来にも増して支援活動の質を高めていく必要があります。

コロナ禍で外部講習やセミナーに出席することもままならない中、個別に専門家の皆様とコラボして知識やスキルの習得に努めております。



社会福祉法人玉柏会
理事長

海野和雄

- ① 自閉症スペクトラムの強度行動障がいへのフレームワーク実践
(発達障がい地域支援マネージャー)
- ② 嚥下咀嚼障がいへの適切な食べ方と食材調理の個別対応(大学歯科部)リハビリ学教授)
- ③ 歯磨きを含む口腔ケア(歯科衛生士)
- ④ 投薬の管理指導の徹底(嘱託医)
- ⑤ 療育のペアレントトレーニング(こども病院発達小児科医師)
- ⑥ 幼児・児童の個別療育相談(大学療育専門教授)
- ⑦ 救命救急活動の定期的ふり返り(消防署)
- ⑧ 防犯・防災活動の月別訓練計画の実践(消防署・警察署・警備会社)
- ⑨ アンガーマネジメント研修による虐待防止活動(社会福祉士)
- ⑩ 直近では転倒防止活動(理学療法士)等

この様に対応すべき課題が非常に多岐にわたってきました。従って独りよがりの判断や生半可な知識・スキルに基づく支援活動は、かえってご利用者の安全・安心を阻害するものになってしまいます。

私たちは**謙虚**な気持ちで**井の中の蛙**にならないよう、従来にも増して専門家とのコラボ活動を推進して**より高き**を目指していきます。

以上

●本年度の取り組みについて

常務理事 濱崎宣雄

令和3年度がスタートして3ヵ月が経過致しました。昨年度は新型コロナウイルス感染防止対応に追われた1年でもありましたが、そのような状況下でも、法人が定めた「委員会活動の深化」「専門性の向上」「リスクマネジメント」等の重点項目に沿った活動を各職員が主体的に実施し、一定の成果があがってきたことを実感しています。

本年度は、今まで取り組んできた項目をさらに継続し、レベルアップすることを目指しますが、特にリスクへの対応について従来に増して注力していかなければならないと考えています。

昨年度は、今までは目立たなかったリスクが顕在化した年でもありました。地域の感染症拡大リスクの他、ご利用者の高齢化にともなう身体機能の低下による転倒が大きく増加し、また嚥下機能の衰えが目立つご利用者も増えてきました。これらへの対応については、専門家の先生方にもご指導をいただきながら、各委員会が中心となって活動を行っています。1年間を通じ、成果があがることを期待しています。

また、これら業務リスクに加え、収支に関わる経営リスクや災害等リスクへの対応も引き続き重要な課題として取り組みます。

法人を取り巻く環境やご利用者は常に変化し続けるので、これら変化を捉え、それら変化に対して早めの対応を行っていくことがリスク管理のうえでは重要なことであると思います。

また、SDGsへの取り組みにつきましては、17のゴールのうち、5つのゴールは従来から実施してまいりましたが、これらについては、社会福祉法人としても取り組むべき責務ですので、今期からより深い目標を掲げ、意識して取り組んでいきたいと思っています。

* 玉柏会 5つのゴール *

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



●令和3年度の玉柏会本部の活動

総務部次長 小長谷英春

令和3年度は、新型コロナウイルスの対応を踏まえながら、SDGsなどの新しい風を取り入れ、活動の深化も含めての活動計画を作成いたしました。

活動の大きな枠としては、2つのキーワードで分類されます。

一つは、今後の事業運営に関する活動(BCP)と持続可能な開発目標(SDGs)となります。

①BCPでは、人材の確保と育成が最重要課題となっており、人財・人材・人罪・人任の4つの観点から、質の高いサービス提供ができる職員を育てる対応をしていきたい。

②SDGsでは、法人と地域が連携して地域福祉の活性化を目指していきたいと考えています。

玉柏会各事業所の活動方針



中央荘 令和3年度 活動方針

中央荘では、昨年度に引き続いて①委員会活動の推進、②専門性の向上、③リスクマネジメントの3点を、重点目標として進めていきます。

①委員会活動の推進では、各委員会において、サブリーダーを起し、人材育成の場として推進力を持たせ、各階に配置して意見集約と各フロアへの展開を目指していきます。②専門性の向上では、ご利用者への更なる専門性が求められているため、専門家のアドバイスをいただきながら、支援の地盤として、動力として、得たものを活かせる様に活動していきます。③のリスクマネジメントでは、リスクを経営・業務・災害の3つから見直し、委員会や活動グループが連動し、少しでも安心した暮らしができるよう行って参ります。

(支援課長 齋藤雅志)

みすず 令和3年度 活動方針

コロナ禍による作業活動の弊害、ボランティア様の受入れ中断、国からの報酬改定、様々な変化の中でも、みすずご利用者は元気よく通所されております。その中、5つの運営方針を掲げています。それぞれが連動する目標で、大きく分けると2つとなります。「①リスクに向けた対応」では、「感染防止・虐待防止・転倒防止・安全運転」と法人内参画をし、中央荘の職員との連携を考えています。事業所独自では「サービス提供の良化」として、ご利用者の体力、身体機能、特性により利用上のリスク軽減した支援体制にします。そして、もう1つ就労支援B型事業所としても大切な「②個々のご利用者の工賃向上」では、コロナ禍関係なく、必要な収入確保に向けた様々な取り組みをしていきます。また、さらには地域に目を向けた活動も進めて参ります。

(みすず管理者 鈴木利往)

かしわ寮 令和3年度 活動方針

昨年度の活動を更に改善しながら、継続した支援を行って参りたいと考えています。

今年度はその中でも以下の点を重点的に活動していきたいと思っています。

生活支援：効率的で質の高い食事提供、ご利用者自身の自治力向上

余暇支援：ご利用者同士の親睦、意思決定支援

学習支援：不測の事態に行動できる力の獲得

今年度はまだまだコロナウィルスの影響で活動に制限を設けざるを得ない状況が続きますが、この状況だから出来る事を沢山探してご利用者の生活が少しでも潤い、充実した日々を過ごせるようにグループ全体で一丸となって活動したいと思っています。今年度も宜しくお願い致します。

(かしわ寮 世話人 土井友員)

すずらん 令和3年度 活動方針

昨年の年明けから1年以上、コロナ禍が続く、事業所やご家庭への訪問が思う様に出来ず、研修会や会合も対面で出来なくなる等、相談支援専門員としての仕事の進め方が大きく変化しました。現在では、電話で情報収集し、郵便で書面のやり取りをして、会議はリモートで行う事が増え、業務の効率化が進みました。今後は、この経験を活かして、コロナの収束後に向けて、対面と非接触を両立させ、より安全な方法で内容の濃いサービス等利用計画を作成する方法を考えていきます。

また、今年度から、被災時の避難について予め検討し、「個別避難計画」を作成しておくことが努力義務となり、相談支援専門員がその任を託される事になりました。新しい試みですが、障害をお持ちの皆様への命に係わる事ですので、真摯に取り組みたいと考えています。

(すずらん管理者 遠藤智一)

オークリーブス 令和3年度 活動方針

昨年の4月、放課後等デイサービス事業所としてオープンし、丸1年が経ちました。玉柏会初の児童を対象とした福祉サービス事業所という事で、日々、緊張感を保ちながら、新鮮な気持ちで支援を続けています。特に気を付けているのは、一人一人としっかり向き合い、信頼関係を築く事だと考えています。現在、5名のご利用児が在籍していますが、集団での音楽活動や個別での創作活動など、職員や仲間との距離感にメリハリをつけながら、充実した時間を過ごしていただいています。また、オークリーブスでは、専門職による専門的支援にも取り組んでいます。保護者の皆様には、ペアレントトレーニングと療育相談会(別枠で詳しく説明しています)を毎月開催しています。ご利用児に関しては、歯科医師、歯科衛生士、看護師による口腔ケア(咀嚼や嚥下の指導など)を定期的の実施しています。このような機会を有効に活用し、サービスの質と職員の専門性向上につなげていきます。

(オークリーブス管理者 遠藤智一)



専門的な支援の取り組み



大石明利先生による『療育相談』

放課後等デイサービス「オークリーブス」では、地域にお住いの障害をお持ちのお子様の保護者を対象とした療育相談会を定期的に開催しております(毎月第四金曜日の午前中)。発達状態への不安や家庭での接し方、進路の問題など、それぞれのご家族で抱えている困り事は実に様々ですが、大石先生の数多くの実践と研究に基づくアドバイスにより、皆さん、納得した明るい表情で帰られるのが、とても印象的です。また、大石先生は、その場のアドバイスにとどまらず、必要があれば発達検査をして下さったり、数か月後に再度相談を受け、経過を確認して下さいたりしています。

同日の午後には、オークリーブスのご利用児の事業所での様子をご覧になったり、実際に関わって下さったりした後、職員に助言をして下さったり、具体的に療育方法を教えて下さったりします。この時間が大変貴重で、専門的支援の必要性・重要性を目の当たりにした職員たちの成長に繋がっていきたいと考えています。

(オークリーブス管理者 遠藤智一)



松風歯科衛生士による『口腔衛生』



令和3年5月より、口腔衛生管理加算が指定障害者支援施設等で算定ができるようになりました。

みなさんは口腔衛生という言葉に、どんな事を思いますか？厚生労働省(健康情報サイト)には【歯口(口腔)清掃のこと。さまざまな方法により、口腔の不潔因子を除去し予防する。】とあります。

日常の歯磨きで不潔因子を除去し、歯の喪失二大原因である虫歯と歯周病の予防を充実させることで、将来の「歯の喪失」を防ぐことができます。

口腔(こうくう)には、食べる機能・会話をしてコミュニケーションを取る機能などがあります。食べるためには、歯で食物を噛み、飲み込む(嚥下)という一連の動作が必要です。会話をする際、口は発音に関わるとともに、表情を作ります。

ご利用者の歯や口・体の健康に関心をもち、歯ブラシなどの道具を使った口腔ケアを実施し歯や口の健康を維持できるようにしましょう。ご利用者の健康的で質の高い生活の実現につながるように穴原荘全体で取り組んでいきたいと思ひます。皆さんのご協力をお願いします。

(歯科衛生士 松風雅子)



理学療法士による『転倒防止対策』



昨年は、玉柏会 転倒防止委員会で、高齢化やご本人の状態、そしてグループ活動の状況から、ハード面における転倒危険箇所を挙げ、ご利用者状況を確認しました。危険性をソフト面からも探り、対応しましたが、転倒発生件数が一昨年よりも増加した結果、骨折されたご利用者も増えてしまいました。

今年度は、より専門的な方のご指導により、活動を進めたいと考え、縁あって株式会社リハライフサポート様と一緒に対策を実施していくこととなりました。まずはご利用者の状況の確認と、それに応じた対応策の検討やアドバイス、全体で行える活動や職員への研修なども企画して進めて参ります。

優しい声かけと身体が楽になる体験により、ご利用者の皆様からとても好評を博しています。

(支援課長 齋藤雅志)

かしわ寮より

例年は、奉仕活動やご利用者が行先を決める外出活動を行っています。今年はコロナ禍によりすべて制限された中ではありますが、かしわ寮の皆さんは野菜作りを楽しんだり、それぞれの趣味を楽しんで元気に過ごしています。

職員もご利用者が楽しめるようにと、今回はご利用者に材料を選んでもらったBBQと、ご利用者に餃子やデザートビュッフェを作っていただいた食事会を企画しました。活動の様子も掲示し、ご利用者皆様が飽きないよう、これからも工夫をして活動していきたいです。(松永文秀)



あずまやでバーベキュー大会!



自分のデザートを作ってます♪

穴原荘より

コロナ禍でも、密を避け、手指消毒の徹底をして楽しく活動しています♪

就労グループ ～Tボール大会～



男性グループ リラックスタイム



男性グループ 余暇活動 ～バーベキュー～



男性グループ
～ハイキング&
地域清掃～

毎月恒例です



女性グループ
余暇活動
～収穫体験
カラオケ
食事会～
素敵な笑顔です!



新人職員のご紹介 です

R2.11.1 入社



竹澤瑠里
(オークリーブス)
はじめまして!
オークリーブスで保育士として働かせていただいております。ご利用児の笑顔を大切に、元気に安全に過ごしていきたいです。

R3.4.1 入社



山梨凌太(穴原荘)

まだまだ分からない事だらけですが、先輩方に教わりながら、少しでも早く色々な業務が出来るように頑張っていきたいと思います。

＊みすず社会貢献＊ ～『地域の買い物支援』はじめました！～ 2021.4月

みすずが立地する、岡地区社会福祉協議会において、コロナ禍の2020年6月に実施した「高齢者への生活状況アンケート」の中で、買い物に行けなくて大変という声が多数ありました。そして、どうにか買い物支援活動ができないかのご相談を頂いたことが、事の始まりです。そこで検討会を立ち上げ、活動の実施方法や役割分担の協議を重ね、2021年4月より活動がスタートしました。活動主催は、岡地区社会福祉協議会。利用対象者は同地区内在住で生活支援活動「岡福祉支え合いの会」を利用する方です。玉柏会の役割は、法人の車両を使用し、職員が登録された方のご自宅から地区内スーパーまでの送迎を行うことです。

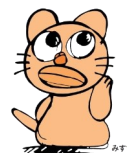
また、活動内では大切な連携もあります。岡地区社協ボランティア様が担う、参加申込み取りまとめ、乗降対応や買い物付き添いの中で、前当日の時間・場所・ご利用者予定の情報共有です。コロナ禍での活動ですが、車内と手指消毒、検温、マスク着用と感染防止に努めています。ご利用された方は、非常に喜ばれ、手提げ袋いっぱい荷物を持って帰る心配もなく買い物を満喫されております。

車内では、何度も「ありがたいよ」「助かるよ」「次回は〇〇だねえ」と毎回、何枚もの「ニヤリほっと報告」が必要なくらいです。
(みすず管理者 鈴木利往)

買い物支援の様子



すずちゃんのひと一言



送迎、納品、外作業、地域貢献…
吾輩が貼り付いている車は、出入りが
激しい今日この頃、安心・安全運転を
お願いしたい。それぞれ車両担当もき
ちんと管理を頼みたい。ところで最近、
キャタピラー付の車!?の様な物を発
見！形も大きさも違うが…

どうやら作業で使うような…コロナ
禍に関係ない作業…自走式除草機
のようだ！様子拝見！ハリツキ捜査
だ！

(すず)

ん!? これは…
捜査開始だ!



令和2年度 決算報告

令和2年度は新型コロナウイルスによる緊急事態宣言の影響が強く出た年度でした。

①事業運営上の収入面 ②ご利用者様の日々の活動制限 ③研修の中止や延期が特に影響がありました。また、ご利用者様の高齢化による転倒事故などが増加し入退院や退所が繰返され、定員の確保も問題化してきました。また、職員の定年退職者も多くなり、人材の確保も重要な課題となっています。(小長谷 英春)

貸借対照表の要旨

令和3年3月30日現在

(単位: 千円)

科 目	金 額
資 産 の 部	
流動資産	562,932
固定資産	1,358,055
（基本財産）	1,089,592
（その他の固定資産）	268,463
資産の部合計	1,920,988
負 債 の 部	
流動負債	52,029
固定負債	197,163
負債の部合計	249,192
純 資 産	
基本金	153,641
国庫補助金等特別積立金	573,179
その他の積立金	108,539
次期繰越活動増減差額	836,437
（うち登記活動増減差額）	26,504
純資産の部合計	1,671,796
負債及び純資産の部合計	1,920,988



社会福祉法人 玉柏会

事業活動計算書の要旨

令和2年4月1日～令和3年3月31日

(単位: 千円)

科 目	金 額
サービス活動増減の部	
サービス活動収益	576,624
サービス活動費用	549,800
サービス活動増減差額	26,824
サービス活動外増減の部	
サービス活動外収益	2,626
サービス活動外費用	3,031
サービス活動外増減差額	-405
経常増減差額	26,419
特別増減の部	
特別収益	9,631
特別費用	9,546
特別増減差額	85
当期活動増減差額	26,504
繰越活動増減差額の部	
前期繰越活動増減差額の部	809,934
当期末繰越活動増減差額	836,438
次期繰越活動増減差額	836,438

資金収支計画書の要旨

令和2年4月1日～令和3年3月31日

(単位: 千円)

科 目	金 額
事業活動による収支	
事業活動収入	579,250
事業活動支出	517,672
事業活動収支差額	61,578
施設整備等による収支	
施設整備等収入	9,696
施設整備等支出	58,290
施設整備等資金収支差額	-48,594
その他活動による収支	
その他の活動収入	343
その他の活動支出	1,035
その他の活動収支差額	-692
当期資金収支差額合計	12,292
前期末支払い資金残高	529,239
当期末支払資金残高	541,621

～ミニ面会コーナーできました～
 穴原荘の正面玄関入口に、雨天時や、土日に使用できる面会コーナー



完成!!
 移動がない分、お客様の負担の軽減
 まちがいなしです!!

入所・通所のご利用者

《穴原荘・入所》

2月 市川さん

7月 青木さん

※新型コロナウイルス感染状況により
 開催中止となる場合がございます。

毎月 第四火曜日
 イベントデー(イオン清水)

穴原

9月までの予定

ご相談は、下記の電話へどうぞ!

電話

054-340-3565

FAX

054-340-3566

E-Mail

endo@tamagashikai.com

すずらん



問

9匹のトウが

乗っている車は?

頭の体操♡わかるかな?

【この記事に関するご意見やお問い合わせは】

電話: 054-394-0311

FAX: 054-394-0312

E-mail: sisiharaso@po4.across.or.jp

QRコード



玉柏会では皆様のお声をお待ちしております。